

## 意見

日付：2026/2/2

件名：日本人の住みやすさと外国人の共生に関して

### 1. 問題、課題

現在の外国人ファーストで、外国人に配慮し、日本人が日本人らしく生きられない生活形態や、文化の廃止が目立っている。

### 2. 改善案

日本である以上、日本の文化を理解し、その上で、外国人の生活に対して配慮する形での受入れ形の見直し。除夜の鐘や、参拝等古くからの日本文化が多い寒川ならではの生活様式があり、それを理解した上での外国人としての日本での過ごし方を学ぶ場を設ける必要がある。日本へいきなり外国のやり方を押し込めば当然要らぬすれ違いを産むだけです。

隣接の藤沢市でのモスク問題により、今後も周辺環境が劇的に変化します。

それに対して、寒川としての自衛と共生の為に、どうあるべきか、今一度立ち止まって考える必要があるのではないのでしょうか。藤沢モスクが建設されてからどうするかというのも近隣市町村としては影響を考える必要があり、本当に必要な物なのかを近隣市としての立ち位置で考える必要もあるかと思えます。

### 3. 改善後の効果

日本の法を犯さずに、外国人が過ごせる環境を作る事が出来る。

日本人の生活を脅かさずに、日本人として暮らせる。

文化や、土着の祭り等と融和する施策が行える。基本的な日本としての生活基盤を変えて迄の共生を求めている訳ではなく、日本人らしく外国人と共生の道を改めて考える機会が生まれる。

---

## 回答

<日本人の住みやすさと外国人の共生に関して>

【所管：町民窓口課】

当町には公的な学びの場は整っておりませんが、地域のボランティア団体が運営する日本語教室があり、日本語教育に加えて寺院参拝で仏教文化を学んだり、折り紙講師を招いて日本の文化に触れたりする活動を行っています。こうした教室は、外国につながるの方が日本での暮らし方や地域とのつながりを学ぶ一つの場となっております。

また、藤沢市内で計画されているモスク建設につきましては、民間事業者が民有地で進

めている事業であり、既に開発行為の許可が出ているため、当町がその必要性の判断を行う立場にはありません。とはいえ、建設や運営により町民の皆様に影響を及ぼす事案が生じた場合は、状況に応じて関係機関と連携し、対応してまいります。

すべての人が尊重され、安心して暮らせる環境づくりに引き続き取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。